

日本発ドイツ便り：遅めのランチ

いつの頃からか、これを食べないと、ベルリンに来た気分になりません。

ということで、大好きなレストランへ。ここはいつも混んでいて、予約がないとなかなか入るのが難しいです。でも解決方法は簡単です。ドイツでは、日本のようにランチの後に1度店を閉める、というところは少ないので、混む時間を避ければよいのです。そんなこんなで、遅めのランチに行きました。

天気の良い日はもちろんテラス席。椅子もパラソルもクロスも白で統一されていてお洒落です。



この店ではメニューも見る必要ないです。いつものあれ。(残念ながら、ウェイターさんには「いつものあれ」では通じないので、ちゃんと Sauerbraten (ザウアーブラーテン) と注文しました☺)



いつも変らぬ美味しさに嬉しくなります。このレストランで、すぐ目の前にある、ヨーロッパー美しい、と言われる Gendarmenmarkt (ジャンダルメンマルクト) を眺めながら、Sauerbraten¹を楽しむのは、私にとっては、すごく優雅なベルリンの過ごし方です。

ちょうどその日、Gendarmenmarkt ではコンサートがあるようで、いつもと風景が違います。

そうしている間に、音楽が聞こえ始めました。「もしやリハーサル？」と食事を終えて、見に行きました。

¹ Sauerbraten とは何ぞ?という方は 100410 にお届けした Sauerbraten の巻をご参照ください。



ヨーロッパでは、ホール（や劇場）でのコンサートやオペラのシーズンは9月から6月。
夏の間は、日が暮れるのも遅いので、野外のコンサートやオペラも多いです。



普段の Gendarmenmarkt 広すぎて写真で全景は映らないのですが、よく似た2つのドーム（ドイツドームとフランスドーム）の間が広場になっています。（冬はここでクリスマス市が開かれます）

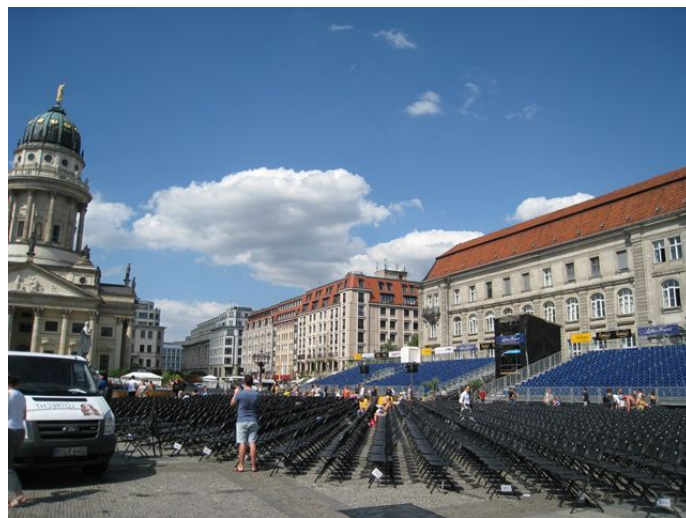


コンサート会場の Gendarmenmarkt。ちょうどパイプ椅子を綺麗に並べているところでした。

正面の舞台では、リハーサル中でした。音を聞きつけて皆集まってきて、適当に椅子に座って、楽しんでいます。私も正面に陣取って、食後にのんびりクラシックを聴いて、なかなか良い午後でした。石畳に石の建物、ということ音の響きも上々。ちょっと広場があれば、どこでも劇場になる感じです。



観客スタンド席まであって、一体何人入るのやら？周りには色んなレストランから、ドリンク、食事等のテントが用意されていました。売られているのは、ビールやカクテル（ちゃんとガラスのコップです）、カナッペやサンドウィッチ、ベルリン名物 Curry Wurst（カレーヴルスト：カレーソーセージ）などです。日本のお祭りの屋台みたいに、B級グルメ、ではなく、どちらかと言えば高級路線です。（コンサートのチケットの値段も高めだったので、おのずと。という感じでしょうか。もちろん Curry Wurst は今やベルリン名物というよりは、ドイツのB級グルメの代表です。そして、同時に国民的軽食なので、外すわけにはいきません。☺）



夜は着飾った人で、華やかだったと思います。花火もある。ということだったので、広場の周辺からでも見えるかなあとちょっと楽しみにしていたのですが、一日遊び疲れて、晩御飯も食べずに、倒れるように寝てしまったのが本当に残念でした。（そこまで遊びまわらなくていいのに…）

時間を気にせず、のんびり過ごすベルリンも、なかなかいいもんです。